

⚠ 警告 安全のために

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

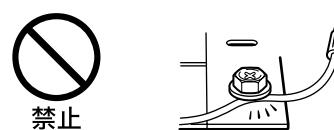
本機はDC12Vマイナスアース車専用です

本機を大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。

運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。

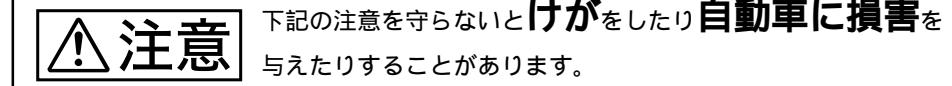
取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。



付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、不安定な場所などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。

本機の通風口をふさがない

通気口などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



SONY®

アクティブサブウーファー

取扱説明書

お買上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する

本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

XS-AW200X

Sony Corporation © 2000 Printed in Taiwan, R.O.C.

主な特長

- 最大出力200Wの余裕あるパワー(4Ω負荷)
- ライン出力がないカーオーディオのスピーカー出力を直接接続できるハイレベルインプット接続機能
- 本機内部の温度上昇や異常な電流からアンプやスピーカーを守る保護回路を搭載
- 安定した電源を供給する高効率パルス電源*を採用
- 可変ローパスフィルター(50~200Hz)を内蔵
- 手元でレベル調整できるリモートレベルコントローラーを付属
- 20cm ポリプロピレン振動板と大型フェライトマグネットが豊かな低音を再生

*パルス電源
DC12Vのバッテリー電源を半導体スイッチによって高速パルスに変換し、それをパルストラnsで昇圧、さらに $\oplus\ominus$ 電源に分り分けたあと再び直流(DC)に戻すコンバーターのことで、小型軽量で、低出力インピーダンスを有する特性をもっています。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

お買上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。くわしくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではカーオーディオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によつては修理可能の場合がありますので、お買上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

● ナビダイヤル 0570-00-3311

(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)

● 携帯電話・PHSでのご利用は... 03-5448-3311

● Fax 0466-31-2595

受付時間:

月～金

9:00～

20:00、

土・日・祝日

9:00～

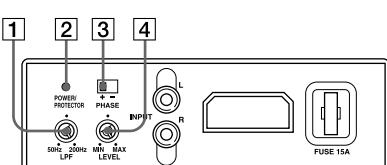
17:00

Sony online http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

各部の名称と使いかた

本体



① LPFカットオフ周波数設定つまみ

ローパス(低音域通過)フィルターのカットオフ周波数(50~200Hz)を設定します。

② POWER/PROTECTOR(電源/保護回路)インジケーター

本機の動作中、緑色に点灯します。保護回路が作動するとインジケーターは緑色から赤色に変わり、本機の動作を停止します。

③ PHASE(位相)切り替えスイッチ

お手持ちのシステムに合わせ低音が増して聞こえるほうに切り換えてください。

④ LEVEL(音量)つまみ

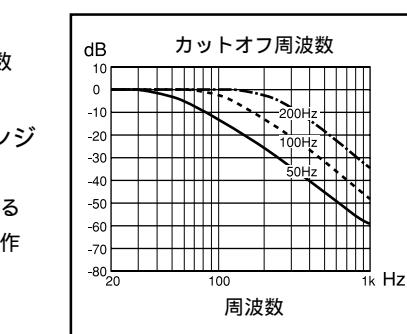
本機の音量を調節します。

⑤ リモートレベルコントローラー

運転席付近に取り付けて手元で本機の音量の調節ができます。

ちょっと一言

リモートレベルコントローラーをご使用になる場合は、本体のLEVELつまみをMAXの位置に合わせてください。



カットオフ周波数

使用上のご注意

・窓を閉めきった自動車を直射日光下に放置すると、車内は相当な高温になります。このようなときは、車内の温度を下げてからご使用ください。

— ポックスの温度が異常に高くなった場合

— 電源ヒューズがとんだ場合

このような場合には、すぐに接続してある機器の電源を切り、異常の原因をお調べください。温度上昇が原因と考えられる場合は、しばらく放置して本機の温度を下げてからお使いください。

・弱ったバッテリーで使用しないでください。本機の性能は電源の状況に左右されるため、十分に性能を発揮できません。

・安全のため、運転中は車外の音が充分聞こえる程度の音量でご使用ください。

故障かな?と思ったら

症状	原因(処置)
POWER/PROTECTOR	ヒューズが切れている。→ヒューズを交換する。
インジケーターが点灯しない。	アースコード(GND)が接続されていない。→車体の金属部にしっかりと接続する。
	カーオーディオのアンプリモート出力のコードが本機のリモート入力端子に接続されていない。→カーオーディオのアンプリモート出力のコードが本機のリモート入力端子に接続されているか確認する。
	本機のリモート入力端子への入力電圧が発生していない(または低い)。接続しているカーオーディオの電源が入っていない。→電源を入れる。
	バッテリーの電圧が適切であるか(10.5~16V)確認する。
POWER/PROTECTOR が赤色に点灯する。	接続が誤っている。→本機の電源を切って接続を確認する。
	本機内部の温度が異常に上昇している。→本機の前面のバスレフ・ポートと側面にある放熱孔がふさがれていないか確認する。
オルタネーターの雑音が入る。	電源コードがRCAピンコード(またはハイレベルインプットコード)に近い。→RCAピンコード(またはハイレベルインプットコード)を電源コードから離して配線する。
	RCAピンコード(またはハイレベルインプットコード)が車両ハーネスに近い。→離して配線する。
	アースが不充分である。→車体の金属部にしっかりと接続する。
音が小さい。	LEVELつまみがMINになっている。→LEVELつまみを調節する。
	リモートレベルコントローラーを使用する場合は本体のLEVELつまみをMAXに合わせる。
音が出ない。	PHASEスイッチが完全に切り換わっていない。→PHASEスイッチを+または-に正しくセットする。
音が途切れる。	保護回路が作動している(アンプの定格出力を越えて歪みの大きな信号がスピーカーに入力されている)。→音量を下げる。

以上の処置を行っても効果が見られないときは、接続に問題があるか、故障と考えられます。お買い上げ店またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

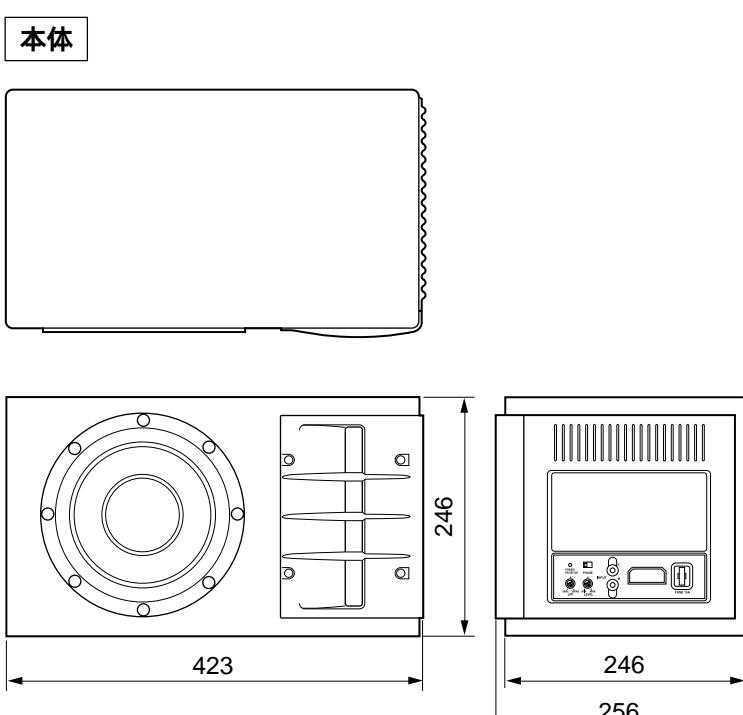
主な仕様

スピーカー部	20cm ポリプロピレンコーンウーファー
形式	4Ω
インピーダンス	
アンプ部	OTL(Output Transformerless)回路
回路方式	パルス電源
入力部	RCAピンジャック ハイレベルインプット
最大出力	200W
定格出力	75W(150Hz, 0.1%THD)
入力感度	0.2~4.0V(RCAピンジャック使用時) 0.4~8.0V(ハイレベルインプット使用時)
高調波ひずみ率	0.03%以下(100Hz)
ローパスフィルター	50~200Hz,-12dB/oct
システム部	
電源	DC12Vカーバッテリー(マイナスアース)
電源電圧	10.5~16V
消費電流	定格出力: 13A リモート入力: 1.5mA
外形寸法	約423×246×256mm(幅/高さ/奥行き)
質量	本体 約9kg(付属品含まず)
付属品	リモートレベルコントローラー(1) 取り付け/接続部品(一式) 取扱説明書(1) ソニーご相談窓口のご案内(1) 保証書(1)
別売りアクセサリー	RCAピンコード RC-64(2m) RC-65(5m)

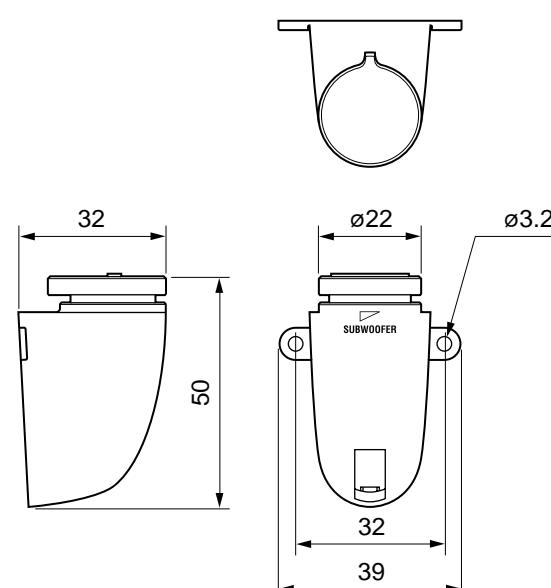
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

寸法図

単位: mm

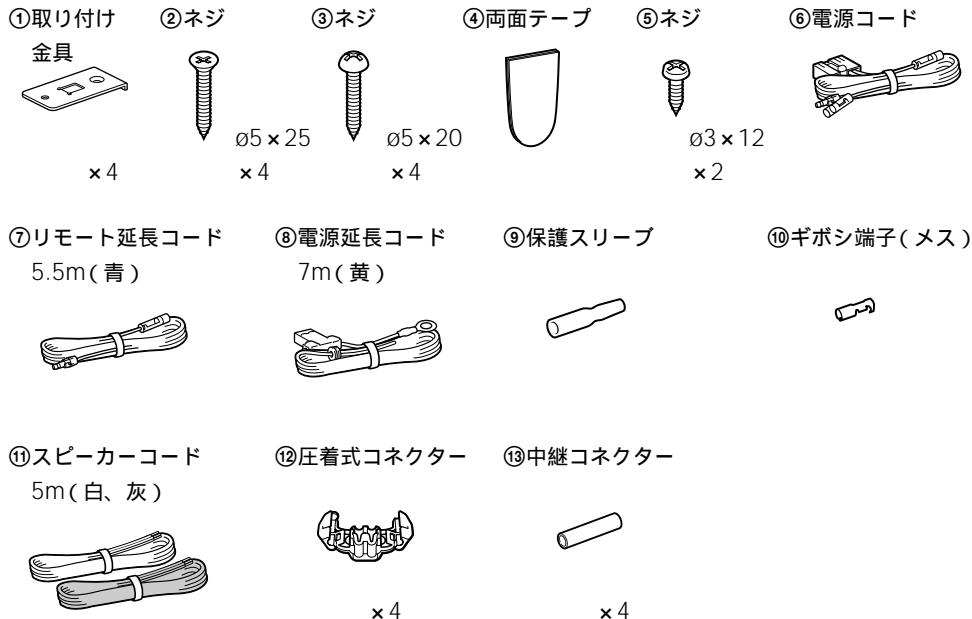


リモートレベルコントローラー



取り付けと接続

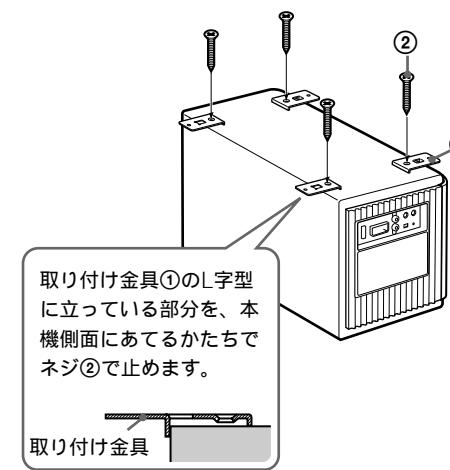
取り付け部品の確認(付属品)



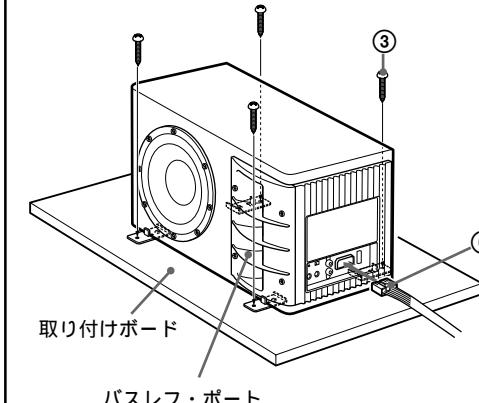
本体の取り付けかた

取り付け金具を利用する場合

1 取り付け金具①をネジ②で固定します。



2 本体を取り付けボードにネジ③で固定し、電源コード⑥を接続します。



この「取扱説明書」に記載されている取り付け、接続先の機器はすべて別売品です。ただし、付属品は除きます。

取り付ける前に

- 車の運転の妨げにならない場所、非常時などの際に同乗者に危険を与えるおそれのない場所を選び、付属の取り付け金具を使ってしっかりと取り付けてください。
- ヒーター吹き出し口の近く、直射日光の当たる場所などは、故障の原因になりますので取り付けないでください。
- 取り付け場所にネジ穴をあけるときは、裏側に何もないことを確かめてから作業してください。
- 本機は、DC12Vカーバッテリー(マイナスアース)でのみ動作します。
- 他のカーオーディオ機器と干渉しあうことがあります。このような場合は、他の機器から50cm以上離して設置してください。
- 窓を閉めきった自動車を直射日光下で放置すると、車内は相当な高温になります。そのようなときは、車内の温度を下げるからご使用ください。
- 本機の放熱孔をカーペットなどでふさがないように、本機は水平に取り付けてください。
- 本機に電気が供給されない場合は、接続を確認してください。
- 本機は、オーバーヒート時やアンプに不具合があったときにトランジスターやスピーカーを保護するための保護回路*を搭載しています。保護回路をテストしようとして回路に余分な負荷をかけたりしないでください。
- 弱ったバッテリーで本機を動作させないでください。本来の性能を発揮することができません。
- 安全のため、運転中は車外の音が充分聞こえる程度の音量でご使用ください。
- 本機の内部は高温になりますので、バスレフ・ポートに指などを入れないでください。
- スピーカー振動板に触れないでください。

* 保護回路

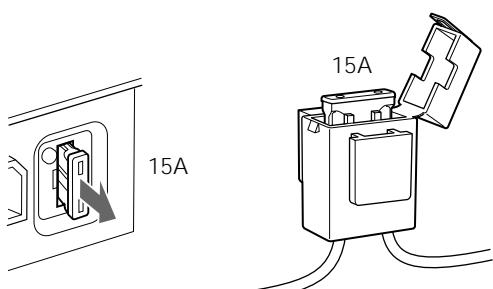
本機には、直流電流が発生したり、アンプがオーバーヒートしたときに作動する保護回路を搭載しています。保護回路が作動するとPOWER/PROTECTORインジケーターが緑色から赤色に変わり、本機の動作を停止します。

保護回路が作動して本機が動作を停止した場合は、接続している機器の電源を切って、接続を確認してください。アンプがオーバーヒートしていると考えられる場合は、アンプの温度が下がってからご使用ください。

ヒューズ交換

ショートしたときや本機に故障があるときは、ヒューズが切れ本機に過大電流が流れることを防ぎます。ヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、同じ規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金などで代用すると故障の原因となるだけではなく大変危険です。

交換したあともすぐ切れる場合はお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。



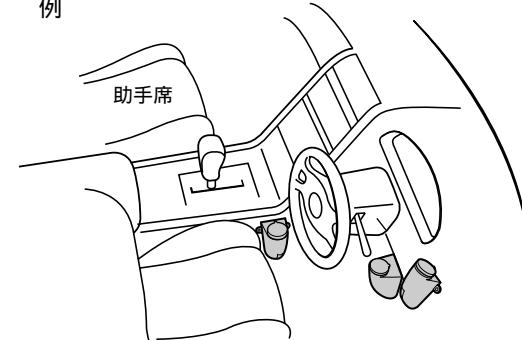
取り付けボードについてのご注意

本機を安全に取り付けるために必ず取り付けボードを使用してください。取り付けボードは18mm以上の厚さの市販の板をご利用ください。

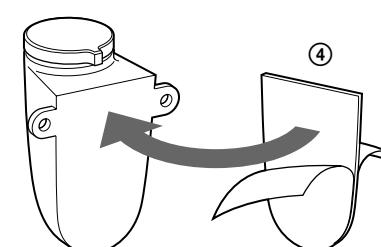
リモートレベルコントローラーの取り付けかた

ステアリングや、シフトレバー、ブレーキペダルの操作の妨げとならない場所に取り付けてください。

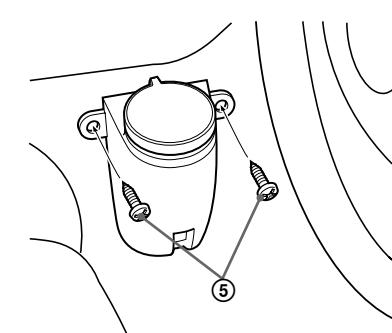
例



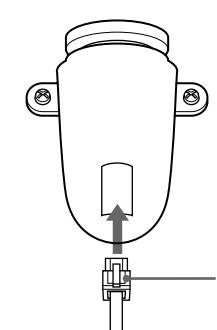
1 リモコン裏面に両面テープ④を貼りつけます。(④を貼りつける面のゴミ、ホコリ等ははらってください。)



2 リモートレベルコントローラーをセンターコンソールやダッシュボードの下などに両面テープ④で仮止めし、ネジ⑤で取り付けます。



3 電源コード⑥のリモートレベルコントローラー端子を接続します。



ご注意

- 端子はコネクターのロックがかかるまで、確実に接続してください。
- リモートレベルコントローラーのコードがシートレールの可動部などにはさみ込まれないことを確認してください。

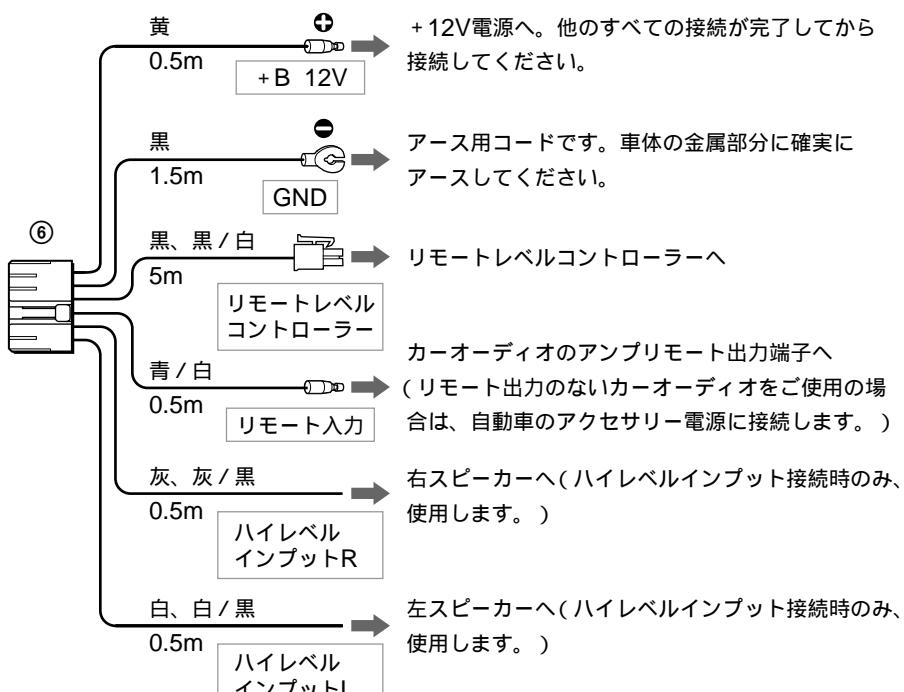
接続する前に 必ず接続先の機器に付属の説明書もあわせてご覧ください。

- ・本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行つてください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因になります。
- ・万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。
- ・RCAピンコードやスピーカーコード、リモートレベルコントローラー用コードは電源コードを近づけて配線するとノイズが出ることがありますので、できるだけ離して配線してください。
- ・接続が終わったら、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどのすべての電装品が正しく動作することを確認してください。
- ・シガレットライターより電源をとることは、おやめください。事故の原因となります。

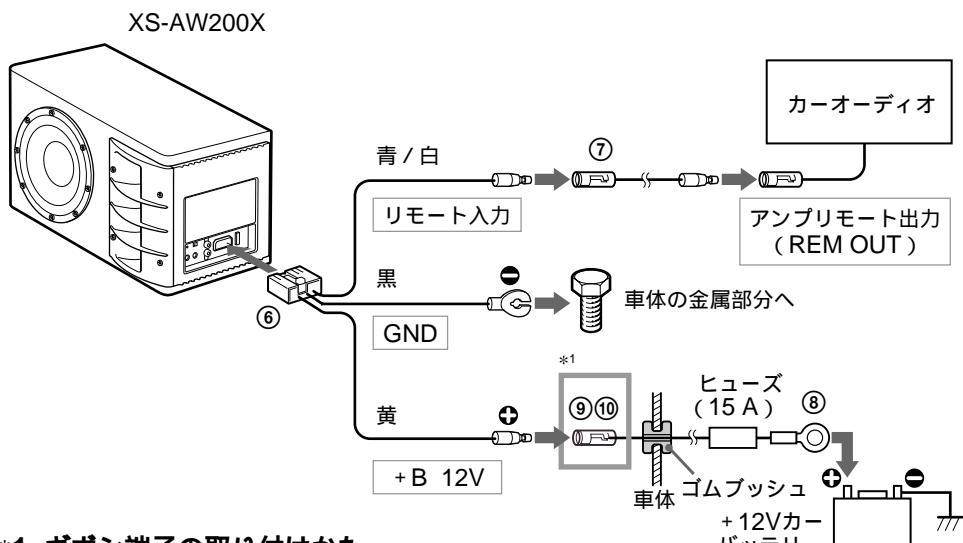
ご注意

- ・コード類を配線するときは、クランバーや粘着テープなどで固定してください。金属のバリ部分などと接触する場合は必ず粘着テープなどでコードを保護してください。
- ・コード類は、ヒーターの吹き出し口の近くなどの高温になる場所を避けて配線してください。
- ・電源コードは、指定されたとおり正しく配線してください。配線を誤ったり、確実に接続をしないと、雑音の原因になるだけでなく正しく動作しません。

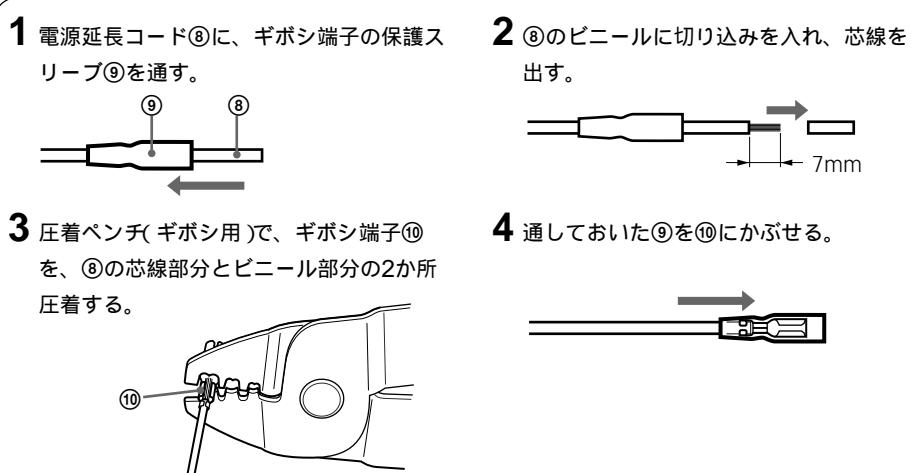
電源コードの色分け



電源接続



*1 ギボシ端子の取り付けかた

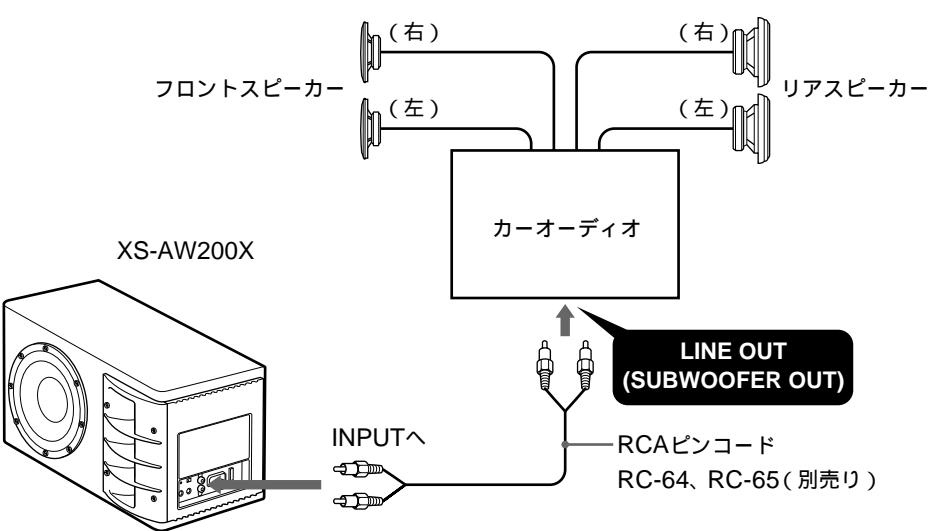


ご注意

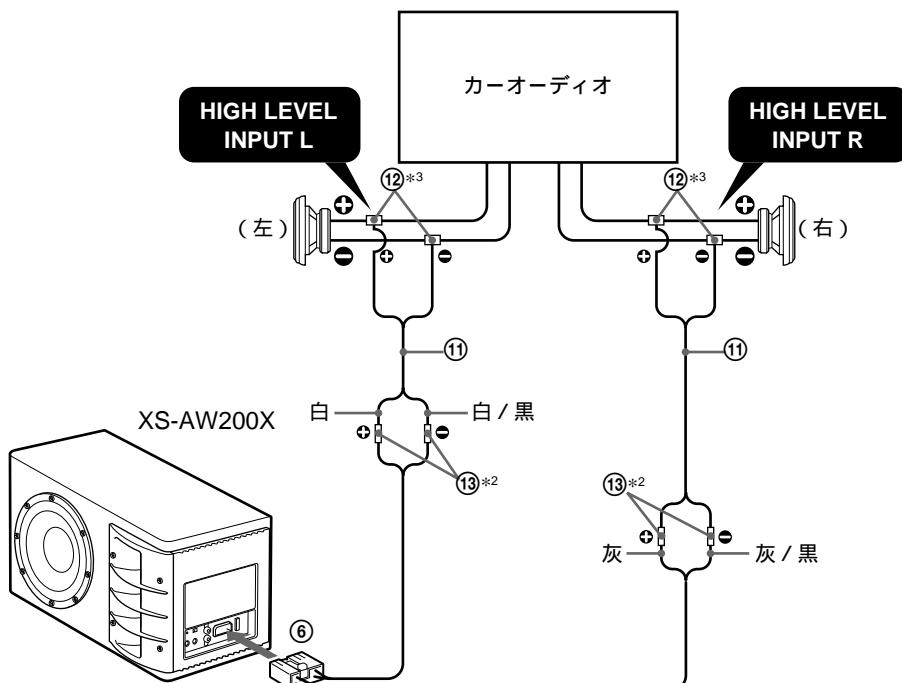
- ・+ 12V電源は、他のすべての接続が完了してから接続してください。
- ・アース用コードは、車体の金属部分に確実にアースしてください。確実にアースしないとアンプの故障の原因になることがあります。
- ・電源延長コード⑧を車体(防火壁)に通す場合は、車体に直径7.4mmの下穴を開けた上で必ず⑧付属のゴムブッシュをお使いください。
- ・エンジンルーム内に電源延長コード⑧を配線する場合は、市販のスパイラルチューブ、結束バンド等で確実に保護、固定してください。

システムの接続例

接続例1 ラインアウトのあるカーオーディオの場合

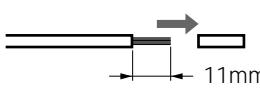


接続例2 スピーカー出力のみのカーオーディオの場合 (フロントあるいはリアスピーカーの左右のコードより分岐)

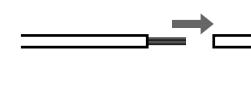


*2 中継コネクターの使いかた

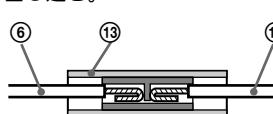
1 電源コード⑥のハイレベルインプットL,R のビニールに切り込みを入れ、芯線を出す。



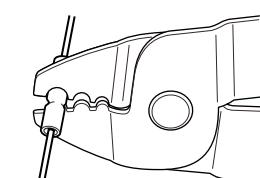
2 スピーカーコード⑪の先端を引き抜く。
(⑪の片側先端には、すでに切り込みが入ってあります。)



3 コードの先端を折り曲げ、中継コネクター⑬に差し込む。

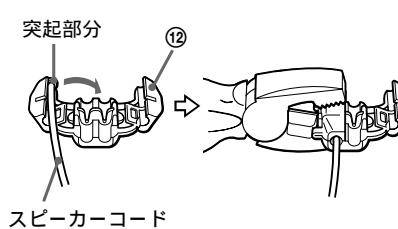


4 圧着ペンチ(コネクター用)で、2か所圧着する。

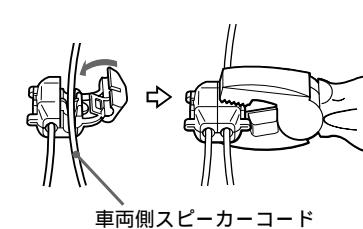


*3 圧着式コネクターの使いかた

1 スピーカーコード⑪の先端に圧着式コネクター⑫を取り付ける。



2 圧着式コネクター⑫を車両側のスピーカーコードの適当な位置に取り付ける。



ご注意

車両側スピーカーコードが細い場合、接触が不充分になることがありますのでご注意ください。

ご注意

スピーカーコード⑪は、+、-を正しく接続してください。+、-を逆に接続すると音が出ない場合があります。